平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	120		
会計	一般会計				
事務事業名	児童館・児童センター・児童クラブ運営事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	分野別計画		子育て応援プラン	
	法令・例規等		児童福祉法	
			飯田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	
			飯田市児童館条例	

事業目的		
	対象	放課後家庭に保護者のいない小学生児童及び保護者
	意図	放課後留守家庭の児童が安心して過ごせる場所を確保する。保護者が安心して働けるようにする。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	H27に丸山児童センター第２を、H29から竜丘児童センター第２を開設して定員増を行いますが、引き続き計画的な定員増と施設整備に努めます。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・H29から竜丘児童センター第２を開設して定員増を行うが、H30以降の定員増について具体的計画を立てます。 ・必要な施設補修等を行っていきます。 ・児童支援員の資質向上のための研修を行います。	児童館・センター人件費	54,320
	児童館・センター施設･備品整備費	992
	児童館・センター運営費	4,909
	児童クラブ人件費	75,150
	児童クラブ施設･備品整備費	2,253
	児童クラブ運営費	4,605
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
放課後児童健全育成事業実施単位数	単位	25			
定員数	人	930			
登録児童数	人	930			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	142,229	（国）子ども･子育て支援交付金（１／３）　32,550千円 （県）子ども･子育て支援交付金（１／３）　32,550千円 （そ）太陽光発電収入
国庫支出金	32,550	
県支出金	32,550	
地方債	0	
その他	700	
一般財源	76,429	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	7	11	1	60,221 / 0	児童館・児童センター運営費
2	1	3	2	7	11	2	82,008 / 0	児童クラブ設置運営費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 120　事業名 児童館・児童センター・児童クラブ運営事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	121		
会計	一般会計				
事務事業名	放課後子ども教室設置運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		子育て応援プラン
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	放課後に安全・安心な居場所を必要とする児童
	意図	放課後の安全・安心な児童の活動拠点を設け、地域の大人達から様々なことを学びながら過ごせるようにする。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	現在５小学校区で放課後子ども教室を実施しており、安定、継続的に運営できるよう、運営支援を行っていく必要があります。 実施小学校区：丸山小、追手町小、座光寺小、下久堅小、竜丘小

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	引き続き運営支援を行います。	地域スタッフ謝金等	2,559
		運営諸経費	525
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	放課後子ども教室の実施小学校区	校	5			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	3,084	（県）放課後子どもプラン推進事業補助金（国1/3，県1/3）　2,052千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	2,052	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,032	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	7	13	1	3,084 0	放課後子ども教室設置運営費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 121　事業名 放課後子ども教室設置運営事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	265		
会計	一般会計				
事務事業名	教育委員会運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		地方教育行政の組織及び運営に関する法律
				私立学校振興助成法

事業目的		
	対象	市民
	意図	適切な教育方針の下で教育課題に取り組み、市全体の教育環境を整える

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	県、県内18市及び飯伊13町村の各教育委員会と連携し、教育課題に取り組みました。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	県、県内18市及び飯伊13町村の各教育委員会と連携して、教育課題に取り組みます。 下伊那町村会と連携し、飯田女子高等学校へ運営費を助成します。 飯伊13町村と連携して教育課題に取り組むため、飯伊市町村教委連絡協議会の運営費を負担します。	教育委員会費	535
		教育委員報酬費	3,572
		交際費	256
		飯田女子高等学校運営費助成負担金	1,634
		飯伊市町村教育委員会連絡協議会負担金	1,481
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	教育委員会定例会及び臨時会の開催	回/年	14			
	飯田市校長会及び教頭会の開催	回/年	10			
	研修会・勉強会・視察等の実施	回/年	15			
	総合教育会議への出席	回/年	2			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	7,478	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	7,478	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	1	10	1	535 / 0	教育委員会費
2	1	10	1	1	10	2	3,572 / 0	教育委員報酬費
3	1	10	1	1	10	3	256 / 0	交際費
4	1	10	1	2	10	2	1,634 / 0	飯田女子高等学校運営費助成負担金
5	1	10	1	2	10	3	1,481 / 0	飯伊市町村教育委員会連絡協議会負担金
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 265　事業名 教育委員会運営事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	266		
会計	一般会計				
事務事業名	事務局運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	

事業目的		
	対象	教育委員会事務局
	意図	的確な事務事業が展開される

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	教育行政の的確な事務事業推進のため、教育長・次課長による会議を定期的に開催しました。 また、取り組んだ活動内容を周知するため、定期的な情報発信を行いました。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
教育行政の的確な事務事業推進のため、教育長・次課長による会議を定期的に開催します。 取り組んだ活動内容は、随時情報発信します。	臨職賃金	1,745
	報償費	50
	旅費	172
	需用費	1,820
	役務費	633
	使用料及び賃借料	699
	負担金補助及び交付金	190
	公課費	76
	その他の経費	0

活動指標

指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
次長課長会議の開催	回/年	24			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費 計	5,385	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	5,385	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	2	10	1	5,385 0	事務局費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 266　事業名 事務局運営事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	269
会計	一般会計		
事業区分	経常	実施区分	継続
開始		終了	

事務事業名	奨学金貸与事業
担当課等名	学校教育課

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	飯田市奨学金貸与条例	

事業目的		
	対象	経済的理由による修学困難者、奨学金受給後飯田市へ帰郷した者
	意図	教育の機会均等を図ることで、こころ豊かな人づくりに資する。飯田市へUターンする動機付けとする。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	進学を希望するも経済的理由で修学が困難な方に対し、教育の機会均等を図ることを目的に、奨学資金を貸与していますが、国において給付型奨学金の検討がなされ、当市の奨学金についても検討が必要になっています。 また、飯田市の奨学金利用者で大学卒業後償還期間内に飯田市に帰郷した方には、償還金を一部免除を行いました。奨学金の免除についても検討が必要になっています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・進学を希望するも経済的理由で修学が困難な方に対し、教育の機会均等を図ることを目的に、奨学資金を貸与します。 ・飯田市の奨学金利用者で大学卒業後償還期間内に飯田市へ帰郷した方には、償還金を一部（1/3）免除し、Uターンする動機としてもらいます。 ・国の給付型奨学金の動向を見ながら、奨学金制度の検討を行います。 ・償還金の免除制度については、免除額増額を含め制度全般について検討します。	報酬等事務費	137
		負担金（長志、龍峡）	6,000
		結いターン促進補助金	4,200
		貸付金	28,440
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	飯田市（含市内民間育英会）奨学金利用者	人	50			
	上記奨学金利用者のうち償還の一部免除希望者	人	70			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	38,777	（そ）奨学資金貸付寄附金　6,000千円 （そ）奨学資金貸付金回収金　17,160千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	23,160	
	一般財源	15,617	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	2	11	1	38,777 / 0	奨学金貸与事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 269　事業名 奨学金貸与事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	270		
会計	一般会計				
事務事業名	教育相談事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	小中学校児童生徒
	意図	いじめ・不登校・問題行動等の相談対応にあたり、児童生徒が安心して学校生活を送れるようにする。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	不登校児童生徒は減少傾向にあるものの、これまで言われた中１ギャップとは別に、小５、中２で増加が見られるなど新たな課題が認められます。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・教育相談員を配置します。 ・中間教室に適応指導員を配置します。 ・カウンセリングマインド研修を開催します。 ・不登校児童生徒対象の体験学習活動を実施します。 ・民間団体などと連携して不登校児童生徒の学校への復帰や自立の支援を行います。	教育相談員、スクールカウンセラー賃金	2,427
	小学校適応指導員賃金	1,158
	中学校適応指導員賃金	2,155
	講師謝礼（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞﾏｲﾝﾄﾞ研修・体験学習）	120
	不登校児童生徒支援事業交付金	1,087
	その他の経費	387

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
中間教室適応指導員の配置	人	2			
カウンセリングマインド研修の開催	回	3			
不登校支援連絡会の開催	回	15			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	7,334	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	7,334	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	2	13	1	7,334 / 0	教育相談事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 270　事業名 教育相談事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	―	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	271		
会計	一般会計				
事務事業名	上村スクールバス運行事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		飯田市立上村小学校等のスクールバスの運用に関する規則

事業目的		
	対象	上村・南信濃地区において、学校まで遠距離のため徒歩による自力通学が困難な児童生徒
	意図	スクールバスを利用することにより自力で通学する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	上村・南信濃地区では、学校まで遠距離のため自力通学が困難な児童生徒が存在し、スクールバスが必要となっています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	程野線、下栗線、遠山線の３路線のスクールバスを運行します。 （各線朝２便・夕方２便）	燃料費	707
		修繕料（車検費用含む）	608
		役務費	85
		運転業務委託料	7,140
		重量税	50
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	スクールバス通学児童生徒数	人	18			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	8,590	（地）過疎対策事業債（充当率100%）　8,200千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	8,200	
	その他	0	
	一般財源	390	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	2	14	1	8,590 0	スクールバス運行事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 271　事業名 上村スクールバス運行事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
スクールバスの運行	○			×	―	×	×	×	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	272		
会計	一般会計				
事務事業名	教職員住宅維持管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		飯田市学校教職員住宅管理規則

事業目的		
	対象	教職員住宅
	意図	良好な居住環境

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	民間アパート等の賃貸住宅が充実している状況に照らし、老朽化した教職員住宅は順次解体する一方、山間地の施設等については、今後とも継続的な修繕維持管理が必要です。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	1 施設の維持管理をします。 浄化槽管理、火災保険、樹木剪定、空き住宅草刈り等 2 施設の小破修理・修繕をします。 漏水・雨漏り修理、建具等修理、その他小破修繕、補修用原材料提供 3 施設不具合の改修工事をします。 便所・浴室・台所等改修、漏水・雨漏り対策工事、その他施設整備 4 老朽教職員住宅の解体工事をします。 ２棟解体	施設維持管理	2,876
		施設小破修理修繕	1,188
		施設不具合改修工事	1,661
		老朽教職員住宅解体工事	3,200
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	浄化槽、樹木剪定等施設維持管理	件	100			
	施設小破修理・修繕	件	25			
	施設不具合の改修	件	5			
	施設解体	棟	2			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	8,925	(そ) 教職員住宅貸付料 8,925千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	8,925	
	一般財源	0	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	3	10	1	8,925 0	教職員住宅維持管理事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 272　事業名 教職員住宅維持管理事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	273		
会計	一般会計				
事務事業名	大平宿泊訓練施設管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		飯田市大平宿泊訓練施設設置条例
				飯田市大平宿泊訓練施設設置条例施行規則

事業目的		
	対象	大平宿泊訓練施設
	意図	施設の良好な維持

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	大平の地理的特徴を活かして自然・環境学習などの機会を提供する歴史的施設であるだけに、今後とも老朽化に対する維持管理が課題となります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	1　施設の修理修繕をします。 2　施設の維持管理をします。 給水ポンプ等の保守点検、汚物汲取り、清掃・草刈、光熱費・建物保険等の必要経費他 3　敷地の借地に係わる賃貸借業務をします。	施設の修繕	115
		施設の管理費用	183
		借地料	49
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	管理施設数	棟	3			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	347	（そ）大平宿泊訓練施設使用料　　７０千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	70	
	一般財源	277	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	3	10	2	347 0	大平宿泊訓練施設管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 273　事業名 大平宿泊訓練施設管理事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
環境の整備	○			－	－	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	274		
会計	一般会計				
事務事業名	小学校管理運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	学校教育法	

事業目的		
	対象	小学校
	意図	小学校の管理運営を行う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	学校管理運営にあたり、効率化・適正化をさらに進め、限られた予算の効果的な執行を行います。

29年度取組

取組内容

・学校運営に係る、燃料費、光熱水費等諸経費を負担します。
・学校運営、教育等に関わる市費職員を配置します。
・学校事務の効率化や教職員の事務負担の軽減を研究します。
・複式学級となっている上村小学校に教科講師を配置します。

経費の内容	事業費(千円)
需用費（燃料・光熱水費等）	73,814
役務費（通信運搬費等）	4,953
委託料（備品管理システム、廃棄物処理）	430
使用料及び賃借料	4,533
旅費	856
学校教育補助員雇用	80,790
上村小学校教科講師雇用	2,792
その他の経費	20

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
講師、養護教諭配置	人	13			
学校事務配置	人	2			
調理員配置	人	2			
外国籍児童生徒共生支援員配置	人	4			
給食リフト、学校用務員配置	人	23			
上村小学校教科講師	人	1			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	168,188
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	2,700
その他	700
一般財源	164,788

特定財源内訳及び補足事項

（地）過疎対策事業債（充当率100%）　2,700千円
（そ）太陽光発電収入　700千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	1	10	1	84,606 / 0	小学校管理一般経費
2	1	10	2	1	10	2	80,790 / 0	学校教育補助員等雇用事業費
3	1	10	2	1	10	7	2,792 / 0	複式学級補助員等雇用事業費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 274　事業名 小学校管理運営事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
学校運営	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	275		
会計	一般会計				
事務事業名	学校保健事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	学校保健安全法	

事業目的		
	対象	市内小中学校の児童・生徒
	意図	健康の保持増進を図る。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	学校保健安全法に規定される児童生徒職員の健康保持及び学校の保健管理が必要なため、学校医を配置し、児童生徒並びに職員の諸検査を行います。また、保健室で必要な備品や医薬材料を配置します。 平成28年度から中学生の生化学検査を実施していますが、健康指導への活用拡大を進めていきます。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	医師会等と連携し、児童生徒職員の健康保持及び学校の保健管理を行うため、以下のことを行います。 ・学校医、薬剤師の配置 ・児童生徒定期健康診断の実施、及び就学時健康診断の実施 ・結核対策委員会の開催 ・日本スポーツ振興センター災害給付制度、全国市長会の保険加入 ・保健備品、器具、医薬材料の購入等 ・オージオメータの定期検査（隔年） ・ＡＥＤ付属消耗品の更新	学校医等報酬	27,093
		児童・生徒等諸検査、保健指導等	16,550
		児童・生徒災害共済賠償保険掛金	8,704
		ＡＥＤ更新	314
		医薬材料、保健備品ほか	3,974
		保健機器点検、水質検査ほか	762
		学校保健会負担金	36
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	疾病・異常の無かった児童生徒の割合	%	99			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	57,433	（国）小学校へき地児童生徒援助費等補助金（１／２，１／３）　158千円 （国）中学校へき地児童生徒援助費等補助金（１／２，１／３）　61千円 （そ）結核対策委員会負担金（他市町村分）　241千円
	国庫支出金	219	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	241	
	一般財源	56,973	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	1	10	6	19,609 0	学校保健指導事業費
2	1	10	2	2	10	13	16,404 0	学校保健対策事業費
3	1	10	3	1	10	5	9,872 0	学校保健指導事業費
4	1	10	3	2	10	12	11,548 0	学校保健対策事業費
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 275　事業名 学校保健事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	276		
会計	一般会計				
事務事業名	小学校施設管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		飯田市立小学校・中学校管理規則

事業目的		
	対象	小学校施設、児童
	意図	施設管理による教育環境の維持

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	小学校施設老朽化の全般的進行に伴い、大規模改修以外の小修繕や応急的改修個所も多岐に発生する状況を迎えるにあたり、今後とも教育環境の増進に向け、継続的に保守点検及び施設修繕を行う必要があります。

29年度取組

取組内容

1　施設の保守点検・調査、清掃等維持管理業務をします。
（1）　消防法等の法定管理業務（火災報知器・消火栓・消火器・非常放送設備､地下タンク、防火戸等の点検）
（2）　安全上の管理業務（自家用電気工作物・小荷物専用昇降機・階段昇降機等の点検、警備保障、火災保険他）
（3）　生活環境管理業務(専用水道点検､浄化槽清掃他)
2　小学校敷地の借地部分の賃貸借業務をします。
3　施設全般の修繕及び改修をします。
（1）　小破修理・修繕　（電気・機械・消防設備、内外壁床天井、漏水凍結、硝子破損、法定点検等による修繕他）
（2）　応急改修工事　（防災上の急傾斜保安工事及び消化設備改修、安全対策上の遊具改修及び手摺設置、老朽対策の雨漏り・内

経費の内容	事業費(千円)
保守点検業務委託	6,304
防火シャッター法定点検（３年毎）	1,000
清掃・剪定等環境維持管理業務	8,038
火災保険	772
借地料	2,703
小破修理修繕	5,542
応急改修工事	40,155
急傾斜学校敷地改良工事	3,000
その他の経費	47

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
管理業務実施対象小学校	校	19			
借地該当小学校	校	12			
施設修繕改修対象小学校	校	19			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	67,561
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	3,000
その他	0
一般財源	64,561

特定財源内訳及び補足事項

（地）自然災害防止事業債　　3,000千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	1	12	1	18,864 / 0	小学校施設管理費
2	1	10	2	1	12	3	48,697 / 0	小学校施設改修費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 276　事業名 小学校施設管理事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	277		
会計	一般会計				
事務事業名	小学校教育振興事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	9	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等		学校教育法	

事業目的		
	対象	小学校
	意図	小学校の学習環境を整える

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	学習に必要な学校備品、教材等の整備を計画的に行っていきます。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・教材、備品、図書、その他学校教育に係る物品等の整備を行います。 ・「わたしたちの飯田市」の改訂を行います。 ・外国籍児童生徒に対する学習支援を行います。 ・飯田市ＰＴＡ連合会の活動を支援します。 ・教員用教科書、指導書を整備します。 ・教員の指導力向上や授業の充実のための取組を支援します。 ・理科、数学教材の整備を進めます。 ・ELT（外国語指導助手）を雇用し、各学校に派遣します。	学校運営、教材等一般経費	92,913
	「わたしたちの飯田市」改訂、印刷関係経費	2,348
	日本語・母語指導者謝礼、旅費	666
	飯田市ＰＴＡ連合会運営補助	150
	教師用教科書、指導書等購入費	964
	下伊那教育会負担金	1,117
	理科・算数教材整備	924
	ELT報酬	7,498
	英語担当教育支援指導主事賃金	2,345
	その他の経費	66

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
「私たちの飯田市」印刷数	冊	3,000			
教員用教科書・指導書配布数	冊	232			
小学校担当ELT雇用人数	人	2			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	108,991
国庫支出金	707
県支出金	0
地方債	0
その他	8
一般財源	108,276

特定財源内訳及び補足事項

（国）外国人就学促進事業補助金（補助率1/3）　245千円
（国）理科教育等設備整備補助金（補助率1/2）　462千円
（そ）副読本販売代金　8千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	2	10	1	96,077 / 0	小学校教育振興事業費
2	1	10	2	2	10	6	2,081 / 0	教員指導力向上事業費
3	1	10	2	2	10	16	9,909 / 0	外国語活動推進事業費
4	1	10	2	2	10	17	924 / 0	理科教育等整備事業費
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 277　事業名 小学校教育振興事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
学校での教育活動	○			×	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	278
会計	一般会計		
事業区分	経常	実施区分	継続
開始		終了	

事務事業名	小学校就学援助等事業			
担当課等名	学校教育課			

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	分野別計画			
	法令・例規等			
			学校教育法	
			就学援助法	

事業目的	対象	児童及びその保護者
	意図	就学に必要な経費の一部を援助し、児童の義務教育を受ける権利を保障する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	経済的に就学援助が必要な要保護・準要保護世帯の児童及び特別な支援が必要な児童の世帯の保護者に対して、就学援助費の支給を行いました。

29年度取組

取組内容

要保護・準要保護世帯の児童及び特別な支援が必要な児童の世帯の保護者に対して、就学援助費の支給を行います。
また、従来半額であった給食扶助を全額支給とします。

経費の内容	事業費(千円)
医療扶助	791
就学扶助	10,598
給食扶助	22,827
交通災害共済掛金	37
特別支援教育就学奨励費	4,640
郡外特別支援学校在籍者扶助	30
その他の経費	0

活動指標

指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
要保護世帯児童数	人	11			
準要保護世帯児童数	人	428			
特別支援教育世帯児童数	人	196			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費 計	38,923
国庫支出金	997
県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	37,926

特定財源内訳及び補足事項

（国）要保護児童生徒援助費補助金（１／２以内）　70千円
（国）特別支援教育就学奨励費補助金（１／２以内）　927千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	2	10	9	67 / 0	就学援助等事業費
2	1	10	2	2	11	1	34,216 / 0	要保護・準要保護児童援助費
3	1	10	2	2	12	1	4,640 / 0	特別支援教育就学奨励費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 278　事業名 小学校就学援助等事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	279		
会計	一般会計				
事務事業名	小学校特別支援教育支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		学校教育法
				障害者基本法

事業目的		
	対象	特別な支援を要する児童
	意図	当該児童の学校での学習活動を円滑且つ効果的に実施できるよう支援する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	特別な支援を要する児童の増加への対応と、個々に寄り添った支援を実施します。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	1　特別支援教育支援員を配置します。 2　特別支援学級の学習環境を整備します。	特別支援教育支援員賃金	47,299
		特別支援学級教材、備品費	1,552
		その他の経費	14

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	特別支援教育支援員数	人	31			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	48,865	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	48,865	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	2	12	2	48,865 0	特別支援教育支援事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 279　事業名 小学校特別支援教育支援事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
学校での教育活動	○			－	×	×	－	－	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	280		
事務事業名	小学校ＩＣＴ教育推進事業【新規】	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始	H29	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	分野別計画			
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	小学校
	意図	飯田市における教育課題である① 小規模校における多様性の育成、② 特別支援学級、不登校児童生徒への学力保証、③ グローバル化に対応できる思考力・判断力・表現力の育成に対応する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	情報化社会にあって、児童生徒に、大量な情報の中から必要な情報を収集し、整理し、活用する力が必要とされています。児童生徒に、情報を適正に活用する力を育むとともに、ICTを活用して飯田市の教育課題（①小規模・少人数学級における多様性の育成。②特別支援学級、不登校児童生徒への学力保証。③グローバル化に対応できる思考力・判断力・表現力の育成。）を解決するための研究を進めます。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・モデル校３校区（竜東中学校区、旭ヶ丘中学校区、遠山中学校区）にICT機器、学習支援ソフト等を整備し、実証研究を進めます。 ・モデル校以外では、モデル校の取組を参考に自校における学習計画づくりを進めます。	ＩＣＴ教育指導・助言、研修	219
	回線使用料	6,337
	設備機器保守点検	7,513
	ネットワークシステム構築	28,889
	コンピュータリース料	34,434
	ソフト・アプリケーション	11,627
	下伊那教育会情報視聴覚委員会負担金	1,394
	その他の経費	160

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
ＩＣＴ教育実証研究実施校数	校	7			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	90,573	（国）地域公共ネットワーク等強じん化事業費補助金（補助率1/2）　14,444千円 （県）市町村合併特例交付金（充当率100%）　14,400千円
国庫支出金	14,444	
県支出金	14,400	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	61,729	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	2	13	1	89,179 / 0	情報通信技術活用教育推進事業費
2	1	10	2	2	13	2	1,394 / 0	視聴覚教育費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 280　事業名 小学校ＩＣＴ教育推進事業【新規】　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
学校での教育活動	○			－	○	×	－	－	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	281		
会計	一般会計				
事務事業名	小学校校外活動支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市教育振興基本計画
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	小学校児童
	意図	小学生が校外活動に参加するために要する経費（交通費・宿泊費）について補助し、校外活動への参加を支援する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	校外活動への参加は、体力の向上や豊かな心の育成など効果が期待できますが、交通費など保護者に負担がかかります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・校外活動参加奨励補助金を交付します。 【補助対象】吹奏楽コンクール（長野県吹奏楽連盟主催）、郡市総合展、郡市連合音楽会、合唱コンクール（NHK・SBC主催のもの）、その他県大会以上の交通費・宿泊費	校外活動参加奨励補助金	2,924
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	補助活動数	回	40			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	2,924	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,924	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	2	15	1	2,924 0	校外活動支援事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 281　事業名 小学校校外活動支援事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
校外活動	○			×	ー	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	282		
会計	一般会計				
事務事業名	小学校建設事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		飯田市立小学校・中学校管理規則
				体育館等床剥離負傷事故及び防止通知（文科省通知H27.12.7／消費者庁事故調査室通知H27.9.25）

事業目的		
	対象	小学校老朽施設　（校舎、体育館、プール、受変電設備、各種設備他）及び敷地
	意図	小学校施設の利用年数の延長及び安全・利便・衛生性等の向上を図り、良好な環境を確保

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	建造物の構造部材や屋内運動場の非構造部材の耐震補強工事は平成27年度までに終了したが、老朽化進行の中で教室棟外壁は耐震性を確保する改修が今後必要となるほか、施設全般として建設から４０年程度経過し、屋根、給排水管、各種設備、プール等の老朽対策を実施しなければならない状況を迎えています。加えて、利便性や快適環境の時代要請に応えていくため、必要な改修を継続的に実施し、学習環境の維持に努めていく必要があります。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
1　教室棟老朽給排水改修に伴いトイレ改良事業をします。 （１）　松尾小学校給水管工事（３期目） （２）　座光寺小学校給水管工事（１期目） 2　体育館の床改修事業をします。 （１）　松尾小学校体育館床改修工事 （２）　丸山小学校体育館床改修工事 3　体育館の照明改修事業をします。 （１）　松尾小学校体育館照明改修工事	教室棟給排水設備及びトイレ改修工事	54,000
	体育館床改修工事	33,268
	体育館照明改修工事	10,230
	その他の経費	590

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
教室棟給排水設備等老朽対策件数	件	2			
体育館床改修件数	件	2			
体育館照明改修件数	件	1			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	98,088
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	73,000
その他	0
一般財源	25,088

特定財源内訳及び補足事項

（地）義務教育施設整備事業債（大規模改造）　（充当率75%）　48,100千円
（地）義務教育施設整備事業債（大規模改造）　（充当率75%）　20,500千円
（地）義務教育施設整備事業債　（充当率75%）　4,400千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	3	10	1	590 / 0	小学校建設一般経費
2	1	10	2	3	11	3	64,230 / 0	小学校施設大規模改修事業費
3	1	10	2	3	11	16	33,268 / 0	小学校施設床改修事業費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 282　事業名 小学校建設事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	283		
会計	一般会計				
事務事業名	中学校管理運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	学校教育法	

事業目的		
	対象	中学校
	意図	中学校の管理運営を行う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	学校管理運営にあたり、効率化・適正化をさらに進め、限られた予算の効果的な執行を行います。

29年度取組

取組内容

・学校運営に係る、燃料費、光熱水費等諸経費を負担します。
・学校運営、教育等に関わる職員を配置します。
・学校事務の効率化や教職員の事務負担の軽減を研究します。

経費の内容	事業費(千円)
需用費（燃料・光熱水費等）	50,903
役務費（通信運搬費等）	2,874
委託料（廃棄物処理業務）	300
使用料及び賃借料	2,056
旅費	1,044
学校教育補助員雇用	35,474
その他の経費	16

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
講師配置	人	3			
学校事務配置	人	3			
調理員配置	人	2			
外国籍児童生徒共生支援員配置	人	1			
学校用務員配置	人	9			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	92,667
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	33
一般財源	92,634

特定財源内訳及び補足事項

（そ）太陽光発電収入　3千円
（そ）電話使用料（中学校）　30千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	1	10	1	57,193 / 0	中学校管理一般経費
2	1	10	3	1	10	2	35,474 / 0	学校教育補助員等雇用事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 283　事業名 中学校管理運営事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
学校運営	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	284		
会計	一般会計				
事務事業名	中学校施設管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		飯田市立小学校・中学校管理規則

事業目的		
	対象	中学校施設、生徒
	意図	施設管理による教育環境の維持

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	中学校施設老朽化の全般的進行に伴い、大規模改修以外の小修繕や応急的改修個所も多岐に発生する状況を迎えるにあたり、今後とも教育環境の増進に向け、継続的に保守点検及び施設修繕を行う必要があります。

29年度取組

取組内容

1　施設の保守点検・調査、清掃等維持管理業務をします。
（1）　消防法等の法定管理業務（火災報知器・消火栓・消火器・非常放送設備、地下タンク、防火戸等の点検）
（2）　安全上の管理業務（自家用電気工作物・小荷物専用昇降機・階段昇降機点検、警備保障、火災保険他）
（3）　生活環境管理業務(飲料用水道点検、浄化槽清掃他)
2　中学校敷地借地の賃貸借業務をします。
3　施設全般の修繕及び改修をします。
（1）　小破修理・修繕　（電気・機械・消防設備、内外壁床天井、漏水凍結、硝子破損、法定点検等による修繕他）
（2）　応急改修工事（防災上の消化設備改修、安全対策上の遊具改修及び手摺設置、老朽対策の雨漏り・内外壁・上下水等各種設

経費の内容	事業費(千円)
保守点検業務委託	3,949
防火シャッター法定点検（３年毎）	1,000
清掃・剪定等環境維持管理業務	3,536
火災保険料	759
借地料	2,074
小破修理修繕	4,020
応急改修工事	20,507
その他の経費	27

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
管理業務実施対象中学校	校	9			
借地該当中学校	校	3			
施設修繕改修対象中学校	校	9			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	35,872	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	35,872	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	1	12	1	11,345 / 0	中学校施設管理費
2	1	10	3	1	12	2	24,527 / 0	中学校施設改修費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 284　事業名 中学校施設管理事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	285
会計	一般会計		
事業区分	経常	実施区分	継続
開始		終了	

事務事業名	中学校教育振興事業			
担当課等名	学校教育課			

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	9	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等		学校教育法	

事業目的		
	対象	中学校
	意図	中学校における学習環境を整える

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	学習に必要な学校備品、教材等の整備を計画的に行っていきます。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・教材、備品、図書、その他学校教育に係る物品等の整備を行います。 ・「私たちの飯田市」の改訂を行います。 ・外国籍児童生徒に対する学習支援を行います。 ・教員用教科書、指導書を整備します。 ・教員の指導力向上や授業の充実のための取組を支援します。 ・理科、数学教材の整備を進めます。 ・ELTを雇用し、各学校に配置します。	学校運営、教材等一般経費	64,870
	「わたしたちの飯田市」改訂印刷関係	2,996
	教員用教科書、指導書等購入費	70
	三遠南信教職員交流旅費	90
	下伊那教育会負担金	1,321
	理科・数学教材整備	1,142
	ELT報酬	22,699
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
「私たちの飯田市」印刷数	冊	3,000			
教員用教科書・指導書配布数	冊	24			
中学校担当ELT雇用人数	人	6			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	93,188	(国) 理科教育等設備整備補助金(補助率1/2)　571千円
国庫支出金	571	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	92,617	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	10	1	67,866 / 0	中学校教育振興事業費
2	1	10	3	2	10	6	1,481 / 0	教員指導力向上事業費
3	1	10	3	2	10	15	22,699 / 0	英語教育推進事業費
4	1	10	3	2	10	18	1,142 / 0	理科教育等整備事業費
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 285　事業名 中学校教育振興事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
学校での教育活動	○			×	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	286		
事務事業名	中学校就学援助等事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	分野別計画			
	法令・例規等			
			学校教育法	
			就学援助法	

事業目的		
	対象	生徒及びその保護者
	意図	就学に必要な経費の一部を援助し、生徒の義務教育を受ける権利を保障する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	経済的に就学援助が必要な要保護・準要保護世帯の生徒及び特別な支援が必要な世帯の生徒の保護者に対して、就学援助費の支給を行いました。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	要保護・準要保護世帯の生徒及び特別な支援が必要な世帯の生徒の保護者に対して、就学援助費の支給を行います。 また、従来半額であった給食扶助を全額支給とします。	医療扶助	284
		就学扶助	16,258
		給食扶助	20,402
		交通災害共済掛金	32
		特別支援教育就学奨励費	3,507
		郡外特別支援学校在籍者扶助	30
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	要保護世帯生徒数	人	6			
	準要保護世帯生徒数	人	309			
	特別支援教育世帯生徒数	人	86			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	40,513	（国）要保護児童生徒援助費補助金（１／２以内）　111千円 （国）特別支援教育就学奨励費補助金（１／２以内）　701千円
	国庫支出金	812	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	39,701	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	10	9	62 / 0	就学援助等事業費
2	1	10	3	2	11	1	36,944 / 0	要保護・準要保護児童援助費
3	1	10	3	2	12	1	3,507 / 0	特別支援教育就学奨励費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 286　事業名 中学校就学援助等事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	287		
会計	一般会計				
事務事業名	中学校特別支援教育支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	学校教育法	
			障害者基本法	

事業目的		
	対象	特別な支援を要する中学校生徒
	意図	当該生徒の学校での学習活動を円滑且つ効果的に実施できるよう支援する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	特別な支援を要する児童の増加への対応と、個々に寄り添った支援を実施します。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	1　特別支援教育支援員を配置します。 2　特別支援学級の学習環境を整備します。	特別支援教育支援員賃金	16,934
		特別支援学級教材、備品費	844
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	特別支援教育支援員数	人	11			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	17,778	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	17,778	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	12	2	17,778 0	特別支援教育支援事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 287　事業名 中学校特別支援教育支援事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
学校での教育活動	○			―	×	×	―	―	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	288		
事務事業名	中学校ＩＣＴ教育推進事業【新規】	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始	H29	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	分野別計画			
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	中学校
	意図	飯田市における教育課題である① 小規模校における多様性の育成、② 特別支援学級、不登校児童生徒への学力保証、③ グローバル化に対応できる思考力・判断力・表現力の育成に対応する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	情報化社会にあって、児童生徒に、大量な情報の中から必要な情報を収集し、整理し、活用する力が必要とされています。児童生徒に、情報を適正に活用する力を育むとともに、ICTを活用して飯田市の教育課題（①小規模・少人数学級における多様性の育成。②特別支援学級、不登校児童生徒への学力保証。③グローバル化に対応できる思考力・判断力・表現力の育成。）を解決するための研究を進めます。

29年度取組

取組内容：
・モデル校３校区（竜東中学校区、旭ヶ丘中学校区、遠山中学校区）にICT機器、学習支援ソフト等を整備し、実証研究を進めます。
・モデル校以外では、モデル校の取組を参考に自校における学習計画づくりを進めます。

経費の内容	事業費(千円)
ICT支援員	7,428
ネットワークシステム構築	11,468
コンピュータリース料	23,232
ソフト・アプリケーション	9,619
下伊那教育会情報視聴覚委員会負担金	738
その他の経費	70

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
ＩＣＴ教育実証研究実施校数	校	3			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	52,555
国庫支出金	7,534
県支出金	5,700
地方債	0
その他	0
一般財源	39,321

特定財源内訳及び補足事項
（国）地域公共ネットワーク等強じん化事業費補助金（補助率1/2）　5,734千円
（国）地方創生推進交付金（補助率1/2）　1,800千円
（県）市町村合併特例交付金（充当率100%）　5,700千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	13	1	51,817 / 0	情報通信技術活用教育推進事業費
2	1	10	3	2	13	2	738 / 0	視聴覚教育費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 288　事業名 中学校ＩＣＴ教育推進事業【新規】　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
学校での教育活動	○			－	○	×	－	－	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	289		
会計	一般会計				
事務事業名	情報モラル教育推進事業【新規】	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始	H29	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	学習指導要領	

事業目的		
	対象	小中学校
	意図	児童生徒が、情報ネットワークについて、その有効性と危険性を正しく理解し、適正に活用できるようにする。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	情報ネットワークの活用の低年齢化が進むとともに、情報ネットトラブルに巻き込まれる事案が増加しています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・小中学生に、情報ネットワークの有効性、危険性について学ぶ機会を提供します。 ・教職員研修を実施します。 ・ネットトラブルに関する児童生徒、保護者向け相談事業を実施します。	児童生徒対象学習会	270
		教職員研修・現地指導	90
		ネットトラブル相談	240
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	情報リテラシー、ネットトラブル防止学習会等	回	9			
	ネットトラブル相談件数	件	90			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	600	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	600	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	13	3	600 / 0	情報モラル教育推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 289　事業名 情報モラル教育推進事業【新規】　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
学校での教育活動	○			×	ー	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	290		
会計	一般会計				
事務事業名	中学校校外活動支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市教育振興基本計画
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	中学校生徒
	意図	中学生の校外活動参加奨励と保護者負担の軽減

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	校外活動への参加は、体力の向上や豊かな心の育成など効果は大きいですが、交通費など保護者に負担がかかります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・校外活動参加奨励補助金を交付します。 中学生が校外活動に参加するために要する経費（交通費・宿泊費）について補助し、校外活動への参加を支援します。 【補助対象】全国中学校体育大会・北信越中学校総合競技大会・長野県中学校総合体育大会・長野県中学校新人体育大会、吹奏楽コンクール（長野県吹奏楽連盟主催）、郡市総合展、郡市連合音楽会、合唱コンクール（NHK・SBC主催のもの）、その他県大会以上の交通費・宿泊費 ・飯田東中学校のりんご並木活動の支援をします。 ・三遠南信中学生交流を実施します。（H29当番市：飯田市）	校外活動参加奨励補助金	13,730
		飯田東中学校りんご並木後援会負担金	1,250
		中学生交流バス借上げ、施設利用料等	509
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	補助活動数	回	70			
	りんご並木管理委託作業回数	回	14			
	りんご並木アドバイザー委嘱人数	人	3			
	三遠南信中学生交流の飯田市参加生徒数	人	34			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	15,489	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	15,489	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	15	1	13,730 / 0	校外活動支援事業費
2	1	10	3	2	15	2	1,250 / 0	りんご並木育成活動事業費
3	1	10	3	2	15	3	509 / 0	三遠南信中学生交流事業費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 290　事業名 中学校校外活動支援事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
校外活動	○			×	ー	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	291		
会計	一般会計				
事務事業名	小中連携・一貫教育推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	分野別計画		小中連携・一貫教育実施要綱	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	小中学生
	意図	小中の接続を円滑にし、学力・体力の向上及び不登校対策を行う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	平成29年度は、引き続き小中連携・一貫教育の取組を「形」から「質」の向上に重点を移行し、「授業改善」、「人間関係づくり」、「９年間の教育課程」、「組織の構築」という４つの視点から深化を図ることとしました。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
1　小中連携・一貫教育推進委員会を開催します。 2 市内全中学校区において小中連携・一貫教育の実践を進めます。 3　中学校区ごと教育支援指導主事を配置します。 4　特色ある小中連携・一貫教育を実施する学校を支援します。 5 学力定着状況を把握、分析し、授業改善を行う取組を支援します 。	報推進委員酬	218
	教育支援指導主事賃金	25,359
	教科書・指導書等	50
	自動車借り上げ料	281
	小中連携・一貫教育推進交付金	900
	標準学力検査用紙代、分析料	3,266
	その他の経費	66

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
教育支援指導主事配置数	人	11			
標準学力検査実施児童生徒数	人	3,806			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	30,140	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	30,140	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	16	1	26,874 0	小中連携・一貫教育推進事業費
2	1	10	3	2	16	2	3,266 0	小中連携・一貫教育学力向上事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 291　事業名 小中連携・一貫教育推進事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
学校での教育活動	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	292		
事務事業名	飯田コミュニティスクール推進事業【新規】	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始	H29	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
			2	飯田市への人の流れをつくる
	分野別計画			
	法令・例規等		飯田市学校運営協議会規則	

事業目的		
	対象	小中学校
	意図	地域と学校が協働し子供を育てる仕組みとして学校運営協議会を設置し、地域と協働して学校運営の改善や児童生徒の健全育成等を行う。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	平成28年度中に、地域と学校が協働して子供を育てる仕組みとして各学校に学校運営協議会を設置するよう進めました。学校評議員制度を廃止し、平成29年度からは、学校運営協議会により学校と保護者、地域住民が一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成等に取り組みます。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・各学校で、学校運営協議会を開催し、学校運営の基本方針や教育活動の改善について協議を行い、年度末にはその評価を行います。 ・学習支援ボランティアなど地域住民の支援を得ながら学校運営を行います。 ・中学校区の学校運営協議会の設置について、研究を進めます。	ボランティア保険保険料	252
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	小中学校の学校運営協議会の総開催数	回	56			
	学習支援ボランティア等の数	人	840			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	252	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	252	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	16	3	252 / 0	飯田コミュニティスクール推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 292　事業名 飯田コミュニティスクール推進事業【新規】　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
通常事務	○			―	―	―	―	―	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	293		
会計	一般会計				
事務事業名	中学校建設事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		飯田市立小学校・中学校管理規則

事業目的		
	対象	中学校老朽施設　（校舎、体育館、プール、受変電設備、各種設備他）及び敷地
	意図	中学校施設の利用年数の延長及び安全・利便・衛生性等の向上を図り、良好な環境を確保

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	建造物の構造部材や屋内運動場の非構造部材の耐震補強工事は平成27年度までに終了したが、老朽化進行の中で教室棟外壁は耐震性を確保する改修が今後必要となるほか、施設全般として建設から４０年程度経過し、屋根、給排水管、各種設備、プール等の老朽対策を実施しなければならない状況を迎えています。加えて、利便性や快適環境の時代要請に応えていくため、必要な改修を継続的に実施し、学習環境の維持に努めていく必要があります。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
1　中学校校舎の大規模屋根改修事業をします。 （１）　旭ケ丘中学校屋根改修工事（２期目） 2　中学校プール濾過装置の大規模改修事業をします。 （１）　緑ケ丘中学校プール濾過装置改修工事（１期目） （２）　竜峡中学校プール濾過装置改修工事 3　中学校校舎の大規模外壁改修事業をします。 （１）　旭ケ丘中学校教室棟外壁改修工事（２期目） （外壁の浮きや剥離部分の補修、外壁塗装等）	屋根改修工事	12,000
	プール濾過装置改修工事	18,333
	外壁改修工事	11,880
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
屋根大規模改修件数	件	1			
プール濾過装置大規模改修件数	件	2			
外壁大規模改修件数	件	1			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	42,213
国庫支出金	3,960
県支出金	0
地方債	16,100
その他	0
一般財源	22,153

特定財源内訳及び補足事項

（国）公立学校施設整備事業補助金（1/3）　3,960千円
（地）義務教育施設整備事業債　（充当率75%）　9,000千円
（地）義務教育施設整備事業債　（充当率90%）　7,100千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	3	11	3	12,000 / 0	中学校施設大規模改修事業費
2	1	10	3	3	11	9	18,333 / 0	中学校プール改修事業費
3	1	10	3	3	11	15	11,880 / 0	中学校校舎外壁改修事業費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 293　事業名 中学校建設事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	346		
事務事業名	学校給食運営事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	学校給食法	

事業目的		
	対象	調理場、児童・生徒
	意図	安全・安心な学校給食を提供する。 児童・生徒が学校給食を楽しみにし、健康で楽しい学校生活を送ることができる。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・食中毒等の大きな事故が発生することなく、給食提供ができています。 ・ＪＡ及び全農を通して地元産の米・野菜を給食食材として提供してもらうなど、地産地消や食育に取り組んでいます。 ・平成27年度から稼働開始した竜峡共同調理場も、安定稼働しています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	安全安心な学校給食提供と、調理場の安定した運営のため、以下の事業を行います。 ・調理業務の委託（丸山、矢高）、及び調理補助者の雇用 ・調理場の安全、衛生管理の徹底 ・栄養士、調理員の健康管理 ・栄養士、調理員の研修 ・地産地消、食育の推進	給食調理業務	210,571
		給食運搬業務	30,056
		調理場施設管理、運営業務	70,194
		調理場衛生管理	1,713
		調理場職員健康管理	1,385
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	食中毒等事故発生件数	回	0			
	飯田下伊那産野菜（主要10品目）の使用率（重量）	%	46			
	長野県産物の使用率（品数）	%	57			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	313,919	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	313,919	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	4	10	1	4,602 0	学校給食一般経費
2	1	10	6	4	10	2	21,500 0	調理補助員雇用事業費
3	1	10	6	4	11	1	98,746 0	学校給食事業費
4	1	10	6	4	11	2	189,071 0	調理業務委託費
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 346　事業名 学校給食運営事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		業務用冷凍空調機の適正管理及び点検	調理場の冷凍空調機の簡易点検を、四半期に１回以上実施	×	○
学校給食における地産地消事業	○			－	○	－	－	－	○		学校給食における地産地消	学校給食への地元農作物の積極的利用	○	○
給食食材の放射性物質検査	○			－	○	－	－	－	○		給食食材の放射性物質検査	給食食材の放射性物質検査を、毎月実施	○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価 進捗状況・成果	中間評価 達成状況	年間評価 進捗状況・成果	年間評価 達成状況
・フロンが漏出するリスクがある。 ・食材から放射性物質が検出されるリスクがある。	年間 年度末 フロン漏出防止	業務用冷凍空調機の適正管理及び点検	未実施がある	×	簡易点検を実施した	○
・学校給食での地産地消の推進により、農村景観の維持、食物輸送による環境負荷の軽減等に資することができる。	年間 年度末 飯田下伊那産野菜利用率46％	学校給食における地元農産物の積極的利用	積極利用を推進	○	積極利用した	○
	年間 年度末 検出なし	給食食材の放射性物質検査の実施	検出なし	○	検出なし	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	48	事業No.	347		
事務事業名	学校給食施設維持管理事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		学校給食法

事業目的		
	対象	調理場、児童・生徒
	意図	調理場施設・設備・機器が安定稼働できるようにし、安全・安心な学校給食を円滑に提供する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・学校給食調理場の設備や機器が安定して稼働できるよう、計画的に、必要なメンテナンスや更新を行っていく必要があります。 ・平成23年度から27年度は矢高共同調理場の設備更新を行い、平成28年度は上郷小学校給食室と南信濃給食センターの施設改修、設備更新を行いました。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
下記の施設、設備、機器の改修、更新、点検等を行います。 ・矢高共同調理場…汚水処理施設機器オーバーホール ・高陵中学校給食室…ボイラーその他の施設設備改修 ・丸山共同調理場…食缶洗浄機更新 ・丸山共同調理場…給食配食用コンテナ車更新	調理場施設・設備・機器の改修、更新	23,732
	調理場施設・設備・機器の点検、修繕	2,904
	配食用コンテナ車の更新	4,400
	配食用コンテナ車の点検、修繕	1,741
	その他の経費	0

活動指標

指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
設備故障等で給食が提供できなかった日数	日	0			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費 計	32,777
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	12,400
その他	50
一般財源	20,327

特定財源内訳及び補足事項

(地) 過疎対策(充当率100%) 1,800千円
(地) 義務教育施設整備(充当率75%) 10,600千円
(そ) 調理設備等使用の対価

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	4	10	3	10,869 / 0	施設改修費
2	1	10	6	4	12	3	21,908 / 0	調理場整備事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 347　事業名 学校給食施設維持管理事業　　学校教育課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況